

子育て当事者の声を丁寧に反映しつつ、市町協働と部局連携により、
ゆりかごから巣立ちまでの切れ目ない「ふく育県」の施策を、更に手厚く、きめ細かな支援へと拡充

「ふく育県」の基本施策

～ ゆりかごから巣立ちまで、切れ目ない支援 ～

結婚

- ・結婚祝い金（市町協働で最大100万円）
- ・日本一の不妊治療支援（自己負担の上限6万円）

妊娠・出産

- ・妊娠・出産時の経済支援
- ・日本一の男性育休支援（1社最大600万円）

乳幼児期

- ・県内店舗でお得に買い物「ふく育パスポート」
- ・第2子以降の保育料無償化

小中学校

- ・中学生までの医療費無償化
（市町助成と併せて、16市町で高校まで無償化）

高校

- ・子育て世帯の家事・育児、外出を支える「ふく育さん」、「ふく育タクシー」
- ・猛暑や雪でも安心！全天候型の遊び場整備

大学等

- ・国に先駆け多子世帯の高校授業料を無償化
- ・多子世帯の県内大学等の授業料支援 等



「ふく育県」の新たな施策(案)

～ 更に手厚く、きめ細かな支援を拡充 ～

1

幸せの実感が広がる「ふく育県」
⇒ 子育て世帯に選ばれる地域へ

- 県内大学等進学者の授業料支援を検討
- 放課後児童クラブへの支援充実
- 地場産給食など強みをブランド化等



2

福祉・医療と教育の連携強化
⇒ 親子の多様な選択肢を拡大

- 医療的ケア児等の地域接続強化
- 不登校児の学びの機会拡大
- ヤングケアラーの支援拡充等



3

わくわく子育てパーク構想
⇒ こどもまんなかの環境づくりを推進

- 大型児童館の魅力向上
- 屋内外の遊び場整備を推進
- 官民連携でこどもの体験づくり等



子育ての希望を叶え、“幸せ”と“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」にステージアップ

ふく育県の新たな施策(案)

県内における子育ての満足度を向上させ、福井県こども・子育て応援計画に掲げる、誰もが子育ての「幸せ」と「よろこび」を実感できる社会の実現に向けて、3つの方向性から中長期的に施策を実行

I 実感が広がる「ふく育県」、子育て世帯に選ばれる地域へ

- 県内大学への進学者を対象とした授業料支援を検討
- 様々な家庭に寄り添い、「ふく育県」の子育て環境をさらに手厚く、きめ細かに支援
 - ・放課後児童クラブや託児サービスの拡充、ひとり親家庭や多胎児・障がい児を育てる家庭のサポート強化
 - ・医療や教育と連携したプレコンセプションケアの推進体制強化、産後ケア充実、医療的ケア児の受入れ体制拡充
- 食農教育の視点を取り入れた地場産給食や幼児教育など、子育ての強みをブランド化し県内外の共感を醸成
- 子育て世帯に必要な情報を早く、着実に届けるプッシュ型情報発信の仕組みづくり

II 福祉・医療と教育の連携強化、親子のための多様な選択肢を拡大

- 医療的ケア児の通学支援、放課後等デイサービスの拡大、居住地校交流の推進
- 5歳児健診の全県展開、乳幼児健診を入口とした発達障がいの早期発見と切れ目ない支援体制の構築
- 不登校児の学びの機会確保(学校・市町・支援機関による情報共有の場の設定、アウトリーチ型支援等)
- ヤングケアラーのサポート体制強化(児童の生活を支えるSCやSSWの常態配置等)
- 学校・地域が協働した居場所づくりを応援、外国にルーツを持つ親子を福祉と教育の両面からサポート
- AI等も活用した「迷子にならないための地図」により、家庭ニーズに応じたサポート情報を提供

III こどもまんなかの環境づくり、ふく育県わくわく子育てパーク化

- エンゼルランドやこども家族館の魅力向上、県の公園等における遊び場機能の拡充
- 市町の公園・遊び場等において、交流人口の拡大につながる整備・改修、インクルーシブ化等を支援
- 学習意欲を高める学校環境の改善、官民共創イベント等を通じたこどもの体験づくり